

補助金評価シート

区分	重点 <b>重点以外</b>	補助根拠	法令補助 ・ <b>その他補助</b>	開始時期	平成27年4月1日	終期	平成30年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	<b>豊栄地区冬季バス運営費補助金</b> 市内旧豊栄地区の小・中学校の児童・生徒が、通学距離や道路状況などの理由で通学が困難となる冬期間において、その保護者が構成する「冬期通学バス運行団体」による通学用のバスの運営に係る経費の一部を補助する。						
款・項・目	教育費・教育総務費・教育振興費						
所属等	教育委員会事務局 学校支援課 庶務係 小林 内線33257						

年 度		27年度（1年目）	28年度（2年目）	29年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	98	110	110
	決算(千円)	0	0	0
補助率				3/10
目 標		対象児童・生徒数 35名 <目標が数値でない場合の評価方法>		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満	0.0%	0.0%	0.0%
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください			
補助事業者による情報の公表		対象保護者向け申請書類に記載		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> e. について、通学困難地域の生徒数が少なかったことから補助金の交付申請が無かったと思われる。但し、冬季の通学困難地域の生徒数の推移によっては、当補助金を申請する場合も想定され、達成率も上昇する。 <g～hにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 通学困難地域の生徒数が少なかったため、補助金交付申請が無かったものと思われる。			
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） <b>② 継続</b> ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 旧豊栄地区において通学距離が遠距離であり、また通学路の状況から冬季期間の通学が困難な児童・生徒に対し、その保護者で構成する「冬期通学バス運行団体」がバスで送迎するための運営経費に対して補助するもの。通学に係る距離や状況を考慮して、対象児童・生徒が問題なく登校できるように公平性・安全性を図り、さらに不登校の未然防止など必要性から判断し、継続とした。					